# 徳島大学

# 留学生センターニュース

http://www.isc.tokushima-u.ac.jp/

No.10

2008.3.31



# 地域に根ざした国際化の推進





留学生センター長 細 井 和 雄

留学生センターニュースレターは平成15年(2003年)5月に創刊され、今回でちょうど10号の節目になります。留学生センターが関係してきたその時々の出来事を広報してまいりました。今回は、地域に根ざした国際化の推進として徳島大学および徳島大学国際連携推進室が行っている事業、徳島大学国際展開推進シンポジウムについてご紹介いたします。

徳島大学留学生センターは平成14年(2002年)4月、法人化の2年前に省令施設として設置されました。当初より3名の教授、2名の准教授とこれを補佐する5

名の職員が配置されています。徳島大学は現在、海外 40 大学と学術交流協定を締結しており、271 名の留学生を、世界 29 カ国より受け入れております。留学生センターは留学生に対して日本語等教育を行い、留学生が本学において先進的研究を行えるよう教職員が一致して支援しております。さらに、県国際交流協会をはじめ、徳島市、美馬市、北島町など地域の方々のお力添えを得て、留学生には安心で快適な日常生活、充実した文化活動が提供されております。大学の国際化には地域のあたたかいご支援が必要です。

徳島大学国際展開推進シンポジウムは「地域に根ざした国際化推進事業」の一環であります。徳島大学国際連携推進室の企画で平成16年度より毎年、開催し、学外にも公開しております。本学で学び、学位をとられた元留学生の方々をお招きし、徳島大学時代の経験などを交えて、現在、在籍している留学生のためになる、有意義なお話をしていただいております。また同時に、お世話になった地域の方々や先生方に卒業後の近況報告をしていただいております。さらに、日本人学生、地域、徳島大学が国際交流、国際貢献、あるいは国際展開を行う上で、外国人留学生とどのように接することが求められているかなどについてもお話いただきます。例年、各国から、3、4人お招きし、日本語でお話いただいており、好評を得ております。19年度

には第4回徳島大学国際展開推進シンポジウムを平成20年2月29日に開催致しました。トンガのRaelyn Lolohae Latus 'Esau 氏 (トンガ王国教育省)、韓国の李 溶培氏 (大韓民国特許庁)、ブラジルのHIRAKATA Luciana Mayumi 氏 (ポンティフィカルカトリック大学リオグランデドソル校歯学部歯科補綴学 講座助教授)、そして中国の張 辰宇氏 (中国南京大学生命科学学院院長・教授)にお話頂きました。参加者の中からは異国の事情を知りたいという素朴な質問が多々ありました。来年もこのシンポジウムをより充実した形で開催したいと考えております。留学生、指導教官をはじめ地域の皆様方にはぜひご参加いただきたいと思います。最後に、今後とも留学生センターの運営と国際交流発展にご理解を賜り、ご協力くださいますようお願い申しあげます。





# 新入学留学生向けのガイダンスの案内

相談部門

金 成海



留学生生活を快適に送るため、新入学留学生(前年度のガイダンスに参加していない留学生を含む)向けのガイダンスを常三島キャンパスと蔵本キャンパスに分かれて実施しています。

留学生センターおよび国際課のスタッフが日本語、英語、中国語、韓国語などを用いて説明を行います。 ガイダンスの内容は、①授業料免除の申請、②各種奨学金の申請、③医療費補助制度への加入、④国民健 康保険への加入、⑤留学生住宅総合保障制度への加入、⑥自動車等の運転免許証に関する注意事項、⑦在留 期間の更新、⑧アルバイト(資格外活動)、⑨年間行事の紹介などがあります。

本ガイダンスの実施時期、場所などについては、留学生センターのホームページを参考してください。

#### (http://www.isc.tokushima-u.ac.jp/)

新入学留学生の皆様是非参加してください。







# 徳大留学情報

今回は、交換留学と研究留学の違いについてご紹介致します。

## ①交換留学

#### ◎概 要

交流協定校に「交換留学生(Exchange Student)」として留学する制度。通常、1年間の留学となることが多いが、3ヶ月からの留学も可能。派遣先で現地の学生と共に授業を受講することから、かなり高いレベルの語学力が要求される。(例:英語圏の場合、TOEFL iBT で80点以上)

\* TOEFL iBT で 80 点以上は、TOEFL PBT で 550 点以上 (TOEIC に換算すると 750 点以上) となります。

#### ◎ 授業料

派遣先での授業料は免除となるが、その代わり、徳島大学に授業料を納入する。

#### ◎ 奨学金

学内奨学金、日本学生支援機構「短期留学推進制度」などが利用可能。

## 2研究留学

#### ◎概 要

交流協定校に「研究者(Visiting Scholar)」として留学する制度。研究を目的として留学することから、期間は研究内容により異なるが、 $3\sim6$  ヶ月の場合が多い。語学力に関する明確な規定はないが、研究上、かなりの語学力が必要となる。

#### ◎ 授業料

派遣先で授業を受講しないので授業料は発生しないが、その代わり、徳島大学に授業料を納入する。

#### ◎ 奨学金

学内奨学金、日本学生支援機構「短期留学推進制度」などが利用可能。

#### 【注 意】

- ⇒ 交換留学、研究留学の場合、派遣先との交渉が長引く場合があります。準備期間を十分取って対応 するようにしてください。(通常、約1年前から準備をすることが必要です。)
- → 留学を希望される場合には、必ず指導教員(ならびにご両親)と相談をして下さい。
- → 留学についての相談を常時受け付けていますので、気軽にご連絡下さい。







平成19年度後期に共通教育の協創型学習の枠組みで留学生センターから授業の提供を試みた。日本人学生 21 名の受講で、「国際交流とは何か、何を意味するのか」について授業を通して自分なりの国際交流の「枠 組み」ができることを目標とした。学生からは、授業に関して評価を得ると共に、「今まで考えたことがなく、 自分とは関係のないことと思っていたが、日本や外国、留学生について知ることができてよかった。これか らは留学生に話しかけてみたい」などの意見が多かった。

#### 金 教員 テーマ: 「徳島大学の留学生事情」

授業では国際交流の意義、日本の留学生政策(受け入れと派遣)、本学の外国人留学生事情について資料、 ビデオなど用いて講義を行いました。総合科学部、工学部、歯学部からの学生が受講しました。学生の国際 交流意識を高めるため、引き続き開講する必要性があると感じました。

#### 坂 田 教員 テーマ:「異文化を知る、自分を知る」

自分との「違い」に直面した時に感じる違和感を異文化シミュレーションにより体験してもらい、「自分の 考えや価値観がすべての場合において正しいわけではない」ことを学んでもらえたと思います。「自分との違 いをどう見るか」、「自分と違う人と接した時にどう行動するか」という身近な問題を取り上げたことから、 受講者からは「異文化が身近にあるものだと気づいた」、「自分を外国人として見るきっかけになったと思う」 などの意見を聞くことが出来ました。

#### 三 隅 教員

#### テーマ:「自分の周りの異文化に気づくこと、そして、 『自分らしさ』を考える」

初回は漫画や新聞記事そして話し合いによって、各 人の経験や教育によって作られた信念や価値観を明ら かにすることを試みました。2回目はフェミニストカウ ンセラーの河野和代氏(ウィメンズカウンセリング徳 島代表)の講演「人権・私自身・フェミニストカウン セリング」で、異文化としてのジェンダーを取り上げ ました。そして3回目に、留学生7名(南アフリカ・ メキシコ・ペルー・ドイツ・アメリカ)と小グループ を作り、日本語・英語・非言語を駆使して話合いを行 いました。初めて外国人と対話した受講者からは、難 しかったが、また挑戦したいという声も得られました。 さらに最近出遭った記事や言動から異文化(男女・外



国等)を扱っているものを集め、発信者と受信者の間の価値観のずれを客観的に分析することを最終課題と しました。提出レポートには各人の様々な気づきが挙げられており、授業を通して「自分らしさ」を考える きっかけが提供できたのではと思います。



# 2007 年度後期・共通教育科目協創型学習 「国際交流の扉を拓く」を終えて



上 田 教員

テーマ:「まず知ることから始めよう」

アジアと日本の関わりを歴史的な背景を知ることを目的に授業を行いました。明治の日本がアジアの人々から敬意をもたれていた時期からその反対に大きく振れる過程をビデオで紹介しました。また、日本が終戦までにアジア地域で行ったことが、現在、どのような形で残っているのかについての映像も一緒に見ました。戦前、日本の植民地であった朝鮮半島で使用された教科書の実物も手にとってもらい、「今」の日本が「過去」とつながっているということを体感的に知ってもらいました。

#### 大 石 教員 テーマ「コミュニケーションの道具としての「日本語教育」」

コミュニケーションの手段としての「日本語」に焦点を当て、外国語としての「日本語」とは、日本語教育の果たせる範囲は、言葉を超えて理解しあう部分やストラテジーとは、などについて講義と留学生からの実際のヒヤリングをもとに学生たちに考えてもらいました。

# 退任教員ご挨拶

准教授 上田 崇仁



センター発足直後の2002年9月に赴任して以来、日本語教育を通じてみなさんには大変お世話になりました。留学生センターは、徳島大学の持つ世界に通じた窓だと思います。サポーター制度や国際交流サロン、English Chat Room等を通じて、積極的に国際交流の扉を拓いていただけたらと考えています。

留学生センターでは、日本語研修コース (大学院入学前予備教育)、日韓理工系コース、全学日本語コース



(留学生センター教員。右から3人目が上田教員)

(日本語補講)、共通教育科目「日本語」「日本事情」、総合科学部開設科目「日本語教授法Ⅱ」、

「日本語教育演習」といった科目を担当しました。 直接授業で接した留学生の出身国は28カ国に上 ります。日本語が話せるようになって、地域の方 との交流が広がった、研究室の日本人と冗談が言 えるようになったと聞くと、日本語教育に携わっ た人間として、本当に嬉しくなります。

今後のセンターの発展、大学の発展を心より 願っております。

ありがとうございました。

・(2008年4月より国立大学法人愛知教育大学教育学部現代学芸課程日本語教育コースに赴任)



# 留学生を支える方を募集しています



当センターでは、留学生の生活が大学内にとどまらないように、様々な活動を通して、地域のみなさまや 徳島大学の学生との交流活動を行っています。

日本語の授業のお手伝いをお願いする地域サポーター、学生サポーター、ホームステイやホームビジット を受け入れていただくホストファミリーを募集しています。

## 1. 地域サポーター活動について

地域サポーターは、地域のみなさまを対象とした留学生支援のための活動にご参加いただいているものです。登録していただき、日本語の授業のお手伝いをはじめとして、留学生センター主催の国際交流活動の際にご案内をお送りしています。案内をお受け取りになりましたら、参加の可否を担当者までご連絡ください。先着順でご参加いただく人数の決まっている活動もございますので、必ず、ご連絡をお願いします。留学生センター教員が、大学開放実践センターで行っている「国際交流ボランティア入門」受講修了生の有志の方々で、留学生支援のボランティア活動団体 J.S.S. も設立されました。この団体との共催で、毎月1回、国際交流サロンを新蔵地区で開催しています。毎回、日本文化をテーマに着付けを体験したり、お茶やお花、書道などの体験を留学生と日本人が一緒にすることで、交流活動を展開しています。基本的に、日本語で活動しています。

## 2、学生サポーター活動について

徳島大学で学ぶ学生で、留学生との交流に関心のある人を募集しています。活動について、事前に説明会を 開催しています。登録制で、日本語の授業や、学内のイベントなどに協力してもらっています。留学生の友達 が作りたいと考えている学生の皆さん、そのきっかけ作りで是非登録を。

## 3. ホストファミリーについて

徳島大学の日本語研修コースで学んでいる留学生や、短期研修で徳島にやってきている学術提携校からの留学生に対するホームステイプログラムがあります。

基本的には、日本語で対応していただくことを前提としたホームステイプログラムです。事前に登録用紙を提出していただきます。その際、希望等を書いていただくことで、お世話していただく学生とのマッチング作業を行います。日程や国籍、食習慣など、ご心配がございましたら、担当教員まで気軽にお問い合せください。その結果、受け入れが難しいというお返事をいただいても結構です。是非、留学生の日本での家族になってください。

▶▶ 詳しくは、留学生センター日本語教育担当教員までお問い合せください。



# 常三島地区国際課事務室移転のお知らせ



常三島地区の建物改修に伴い、一時移転していた国際課国際交流係事務室は4月より、新しくなった共通 教育4号館(旧B館)に戻ります。

若干位置が異動し、就職支援室との共用スペースとなりますが、オープンスペースで明るい部屋になります。気軽に来室ください。

なお、電話番号、電子メールアドレス等には変更ありません。



# 蔵本地区留学生支援室

蔵本地区にある留学生支援室をご存じですか



蔵本会館2階にあり、月曜日から金曜日の午前10時から午後5時(火曜日及び金曜日は午後5時半)の間、 国際課事務職員1名(月曜日から金曜日の毎日)と留学生センター教員(火曜日及び金曜日)が勤務しており、留学生の相談に応じて、トラブル、悩み事などのサポートをしています。

留学に興味のある日本人学生も気軽に来室ください。





#### + 新蔵キャンパス

新蔵地区には、留学生センターがあります。留学生の生活相談をはじめ、海外留学を考えている学生に対する相談、日本語教育に関する質問・相談に対応しています。また、留学生と地域交流の拠点として、留学生と日本語で交流する「国際交流サロン」も実施しています。

# 留学生センター連絡先

#### ◎留学生センター長 088-633-7323 (内 83-5210) 教 授 細井和雄 hosoi@dent.tokushima-u.ac.jp ◎副センター長 大石寧子 088-656-9875 (内 82-6212) 教 授 oishi@isc.tokushima-u.ac.jp 教 授 三隅友子 misumi@isc.tokushima-u.ac.jp 088-656-7120 (内 82-6214) 教 授 金 成海 kin@isc.tokushima-u.ac.jp 088-656-7543 (内 82-6215) 准教授 坂田 浩 kobayasi@isc.tokushima-u.ac.jp 088-656-7543 (内 82-6211)

ueda@isc.tokushima-u.ac.jp

常三島 キャンパス

准教授

上田崇仁

留学生に対する日本語教育の授業の多くを常三島キャンパスで行っているため、教員の控え室があります。総合科学部 1 号館 1 階北側です。相談、質問がありましたら、気軽に訪ねてください。

留学生センター教員控え室 088-656-7614

国際課事務室

088-656-7082

(2008年4月より場所が移転します。7ページをご覧ください。)

蔵 本 キャンパス

留学生支援のために蔵本会館2階に支援室があります。ここでは週2回、センター教員が相談、質問に対応しています。蔵本会館2階では、蔵本地区での日本語の授業を行っています。

留学生支援室

088-656-7398 (担当:米田)

088-656-9872 (内 82-6213)

#### 編集後記

ニュースレターもこの号で 10 号を迎えることになりました。 ありがとうございます。今後とも、センター活動を広く知って いただき、大学及び地域の国際化に役立ちたいと考えております。 よろしくお願いします。

さて、次号から編集担当が交代します。長い間、ありがとうございました。

発 行 徳島大学留学生センター

住 所 徳島市新蔵町2-24

Tel. 088-656-7082 Fax. 088-656-9873

E-mail: ryugakuk@jim.tokushima-u.ac.jp